

瑞林寺の地蔵菩薩ほか2件

市の有形文化財に指定

▲……………市教育委員会は、市内松岡 瑞林寺の地蔵菩薩座像と東滝川 妙善寺の十一面千手観音座像、比奈 医王寺の薬師如来座像の3軀を、9月1日付で、市の有形文化財に指定しました。これらの作品は、平安時代末期及び室町時代に造られきわめて優秀な彫刻であり、市内でも貴重な仏像と評価されています。



木造地蔵菩薩座像
(瑞林寺延命地藏尊)

平安時代末期に造られたが、鎌倉時代の力強い様式を示す像である。構造は寄木造で、表面に漆箔が施されている。作者は不明。

像の体内には墨書で、治承元年(1177)の年号も記され、制作された時期がわかる極めて優秀な作品。

伝えでは、源平富士川の合戦の折、平家の守り本尊として、この地に運ばれたものとされている。



木造十一面千手観音座像
(原田妙善寺)

制作の時期は、体軀・衣文の線からおそらく室町時代と推定される。

構造は寄木造で、表面に漆箔が施されている。

作者は不明。

本像は、市内では類例中もっとも古く、優秀な作品とされている。

なお、同観音堂内の広目天、多聞天像の二天は、すでに市指定の文化財になっている。



木造薬師如来座像
(比奈医王寺)

平安時代末期の制作になると推定され構造は寄木造で、表面に金泥漆箔を施してある。

現在、像は江戸時代の修理で、表面に手が加わっているが、藤原末期(12世紀頃)当時流行の定朝様式に範をとったもの。

修理によって、造られた当初の面影を少なくしているものの、体軀は古く極めて優秀な作品である。

グループ訪問

演劇ファンの手でステージを実現 富士市民劇場

「きびしい現実の中で、生きるよろこびや感動を与え、私達を勇気づけ、心を豊かにしてくれる演劇を、私達のまちで鑑賞したい」

こうした願いから生れたのが富士市民劇場です。創立5年で会員は、1,023人。事務所と専従局員をおくまでになりました。会費は月1,000円で2カ月に1度観劇しています。

当面の目標は会員を増やして富士宮でもステージが開催できるように

すること。そのため会員の予備登録運動を実施中とか。

「ひとりひとりのアイデアで、すばらしい例会にしていきたい」

事務局は今日も演劇ファンの熱気にあふれていました。

連絡先 ☎63-9201



例会終了後、俳優座の出演者と
こん談する富士市民劇場の会員